

# 从创业到申请永住权

行政书士Urban国际法务事务所行政书士  
行政书士代表 日影恒次

2023年5月13日

HIECC文件

# 目录

- 摘要
- 外国人成立公司
- 成立公司流程
- 成立后的手续
- 开设银行账户
- 什么是经营管理签证
- 经营管理签证的条件（1）（2）
- 经营管理签证的更新
- 什么是永久居留权
- 申请永久居留权的条件
- 从高度专门职到永住（捷径）
- 常见问题和解答
- 参考资料
- 结论

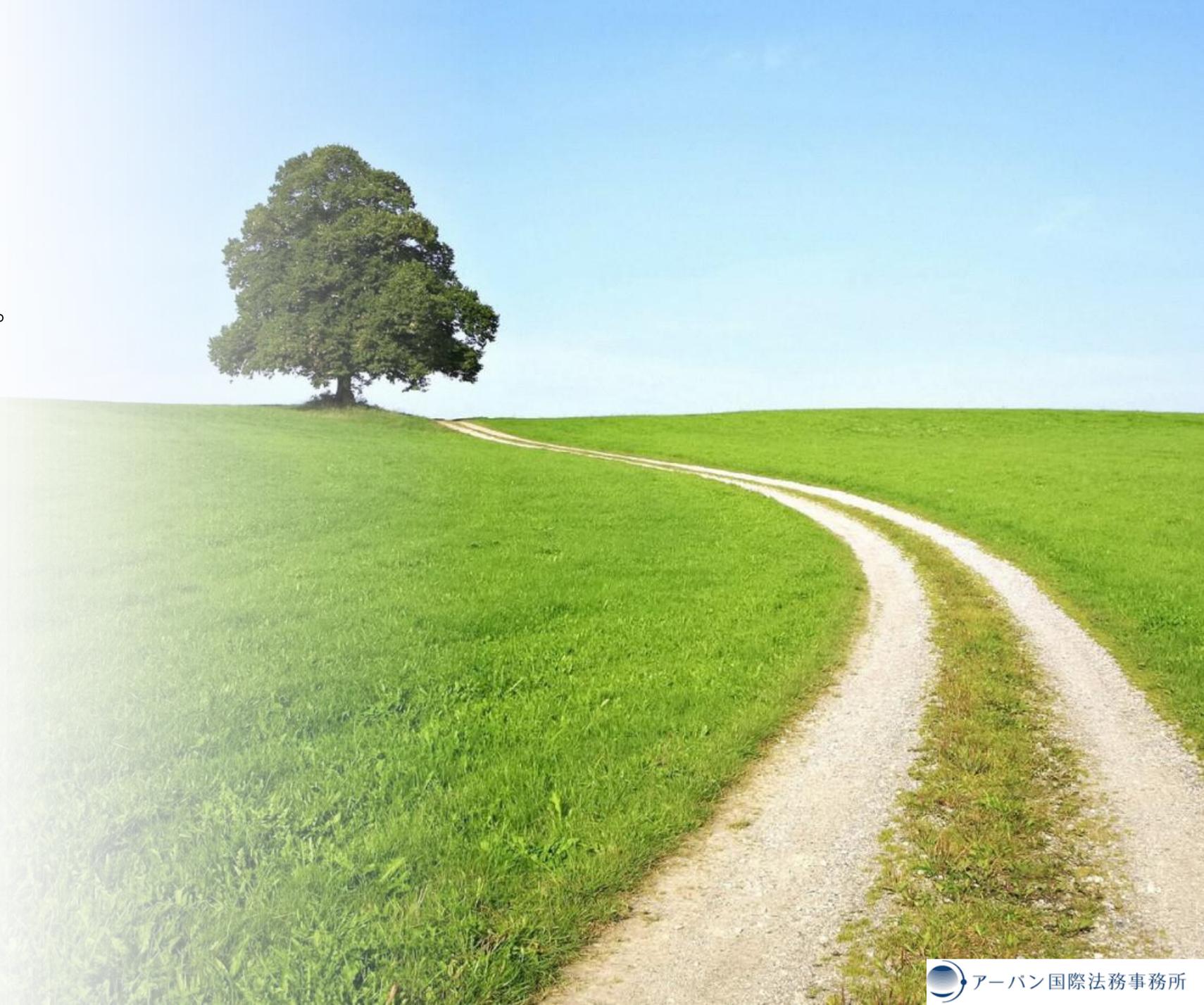
# 摘要

申请永久居留权是一条漫长的路。  
重要的是不放弃申请。

设定稳定、合理的工资，按时交税，坚持做现在能做的事。

如果用错误的方式获得或更新签证，可能会导致不能续签或需要很长时间才能取得永住权。

本次说明会将介绍从设立公司到取得经营管理签证，以及最终目标—取得永住权的一系列流程和注意事项。



# 外国人成立公司

股份有限公司（管理和资本分开） 有限责任公司（管理和资本一起）

- 如果在日本有出资人和董事
  - 如果在日本有合作者（出资人或董事），则会更顺利。
- 如果在日本没有出资人和董事
  - 如果在日本没有出资人或董事会成员，申请营业场所的租赁将需要更多的时间和精力。此外，还需要签字证明和随附文件的外文译文。

# 成立公司流程

## (1) 提前准备

确定公司的基本事项（参照附件中的“成立检查表”）

为公司准备一个有代表性的印章（如果可以的话也准备银行印章和方形印章）

## (2) 拟定公司章程

## (3) 公司章程认证（公证处）

## (4) 汇付资本金

## (5) 登记申请 注册大约需要7~14天

# 成立后的手续

- 向税务局（国・道・市町村）提出一式成立书等
- 社会保险，厚生年金的适用公司设置书
- 建立工人赔偿和失业保险制度（如果公司有雇员的话）
- 向市政府办公室登记地址
- 如果公司代表地址发生变化，要进行地址变更登记
- 开设公司账户等

# 开设银行账户

最常咨询的事项之一是公司成立后开设公司的银行账户。

建议事先向与您有业务往来的银行咨询

一般来说，在日本居住6个月后可以开立个人账户。

网络银行对开户可能更宽松。

**UI银行**，是东京きらぼし (Kiraboshi) 金融集团下的数字银行。

(<https://www.uibank.co.jp/>)

- 开户和转账可以用多种语言进行。
- 可以考虑使用**东京きらぼし (Kiraboshi) 银行**等网上银行来开设企业账户。  
(<https://www.kiraboshibank.co.jp/hojin/>)
- 开设企业账户至少需要两周到六个月时间。

# 什么是经营管理签证

- 在日本负责管理公司业务的人

= **公司的代表董事等**

(大概率是一个人，取决于公司的管理规模)

或者

从事与企业管理有关的支店长或者部长等

※这次不进行详细讲解

# 经营管理签证的条件(1)

- 活动的安定性，持续性的证明

「经营管理」活动的收入必须足以支持他们的生活（最好每月至少有250,000日元）。

对于新企业来说，需要一份详细的商业计划和预计损益计划(2年以上)

提交销售额的依据（如与其他公司的合同）供应商，价格表，组织结构图，以及与其他公司业务有关的会议证明文件等。

- 申请人必须在实质上从事该业务

# 经营管理签证的条件（2）

- 公司必须位于日本境内 = 与居住空间分离  
现在很严格

- 企业的规模必须属于以下类别之一。

- (1) 至少有两名居住在日本的全职员工

「全职员工」包括日本国民、永久居民、特别永久居民以及日本国民和永久居民的配偶，不包括经营管理签证申请人。

- (2) 出资500万日元以上

「资本金」最好是自筹，但从亲戚或朋友那里筹集的资金也可以获得经营管理签证。资本金必须是实际用于业务的资金，展示金等形式出资不被承认。

- (3) 该企业的规模必须与上述两项相似。

# 经营管理签证的更新

- 在评估续签时，移民局很重视企业的稳定性和持续性。如果与发放移民签证时相比有任何变化，如计划销售额和实际销售额之间有重大差异，商业计划或业务内容有变化，或经营地点有变化，也必须在申请表中详细说明变化的原因。
- 具体来说，要通过检查公司的财务收益来做出综合决定。一家公司在成立后的第一个周期内立即出现亏损的情况并不少见，续签不会因为这一点而立即被拒绝，但如果公司连续两周期出现亏损、资不抵债或没有记录经营利润，企业的持续性将受到质疑，续签可能被拒绝
- 另一方面，如果公司已经连续两周期或更长的盈利，根据对经理的履历和公司的经营状况的综合评估，更有可能获得为期三年的经营管理签证。

# 什么是永居权

- 这种签证使持有人有权在日本无限期居留。
- 不需要更新签证。
- 永住者在就业方面没有任何限制，因为他们把自己的生活建立在日本。

# 申请永久居留权的条件

- (1) 品行端正
- (2) 他/她有足够的资产或技能来支持独立的生活。
- (3) 此人的永久居留被认为是符合日本的利益。

ア 一般来说，该人必须在日本持续居住至少10年  
其中，以就业资格或居留资格在日本连续居住5年以上者。 ※有例外情况。

イ 没有被判处过罚款或监禁

ウ 正当履行公共义务（主要是税收和保险）

エ 已经在日本停留了目前所持有的居留资格的最长居留期。

オ 从公共卫生的角度来看，不存在危害的风险。

# 从高度专门职到永住 (捷径)

- 右图是积分计算表。  
将适用条件的分数加起来。  
如果总分超过70分  
在被认定为高级专业人员的1至3年后，有可能获得永久居留证。
- 推荐从高度专门职获得永久居留证。

《ポイント計算表》

		高度学術研究分野	高度専門・技術分野	高度経営・管理分野	①最低年収基準																																									
学 歴	博士号(専門職に係る学位を除く。)取得者	30	博士号又は修士号取得者(注7)	20	高度専門・技術分野及び高度経営・管理分野においては、年収300万円以上であることが必要																																									
	修士号(専門職に係る博士号を含む。)取得者	20	修士号(専門職に係る博士号を含む。)取得者(注7)	20																																										
	大学を卒業し又はこれと同等以上の教育を受けた者(博士号又は修士号取得者を除く。)	10			②年取点表																																									
	複数の分野において、博士号、修士号又は専門職学位を複数有している者	5			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>～29歳</th> <th>～34歳</th> <th>～39歳</th> <th>40歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000万</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>900万</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>800万</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>700万</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>600万</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>500万</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>400万</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			～29歳	～34歳	～39歳	40歳～	1,000万	40	40	40	40	900万	35	35	35	35	800万	30	30	30	30	700万	25	25	25	—	600万	20	20	20	—	500万	15	15	—	—	400万	10	—	—	—
	～29歳	～34歳	～39歳	40歳～																																										
1,000万	40	40	40	40																																										
900万	35	35	35	35																																										
800万	30	30	30	30																																										
700万	25	25	25	—																																										
600万	20	20	20	—																																										
500万	15	15	—	—																																										
400万	10	—	—	—																																										
職 歴 (実務経験) (注1)	7年～	15	10年～	20	10年～	25																																								
	5年～	10	7年～	15	7年～	20																																								
	3年～	5	5年～	10	5年～	15																																								
			3年～	5	3年～	10																																								
年 収 (注2)	年齢区分に応じ、ポイントが付与される年収の下限を異なるものとする。詳細は②参照				3,000万～	50																																								
					2,500万～	40																																								
年 齢	～29歳	15	～29歳	15	2,000万～	30																																								
	～34歳	10	～34歳	10	1,500万～	20																																								
ボーナス① (研究実績) [研究実績]	～39歳	5	～39歳	5	1,000万～	10																																								
		25		15																																										
ボーナス② (地位) [地位]		20		10																																										
					代表取締役、代表執行役 取締役、執行役	10 5																																								
ボーナス③			職歴に関連する日本の国家資格の保有(1つ5点)	10																																										
ボーナス④			イノベーションを促進するための支援措置(法務大臣が告示で定めるもの)を受けている機関における就労(注3)	10																																										
ボーナス⑤			試験研究費等比率が3%超の中小企業における就労	5																																										
ボーナス⑥			職歴に関連する外国の資格等	5																																										
ボーナス⑦			本邦の高等教育機関において学位を取得	10																																										
ボーナス⑧			日本語能力試験N1取得者(注4)又は外国の大学において日本語を専攻して卒業した者	15																																										
ボーナス⑨			日本語能力試験N2取得者(注5)(ボーナス⑦)又は⑧のポイントを獲得したものを除く。)	10																																										
ボーナス⑩			成長分野における先端的事業に従事する者(法務大臣が認める事業に限る。)	10																																										
ボーナス⑪			法務大臣が告示で定める大学を卒業した者	10																																										
ボーナス⑫			法務大臣が告示で定める研修を修了した者(注6)	5																																										
ボーナス⑬			経営する事業に1億円以上の投資を行っている者	5																																										
ボーナス⑭			投資運用業等に係る業務に従事	10																																										
合格点					70																																									

③研究実績		高度学術研究分野	高度専門・技術分野
特許の発明 1件～	20	15	
入国前に公的機関からグラントを受けた研究に従事した実績 3件～	20	15	
研究論文の実績については、我が国の国の機関において利用されている学術論文データベースに登録されている学術雑誌に掲載されている論文(申請人が責任著者であるものに限る。) 3本～	20	15	
※ 上記の項目以外で、上記項目におけるものと同等の研究実績があると申請人がアピールする場合(著名な賞の受賞歴等)、関係行政機関の長の意見を聴いた上で法務大臣が個別にポイントの付与の可否を判断	20	15	

※高度学術研究分野については、2つ以上に該当する場合には25点  
(注1) 従事しようとする業務に係る実務経験に限る。  
(注2) ※1 主たる受入機関から受ける報酬の年齢  
※2 海外の機関からの転勤の場合には、当該機関から受ける報酬の年齢を算入  
※3 賞与(ボーナス)も年収に含まれる。  
(注3) 就労する機関が中小企業である場合には、別途10点の加点  
(注4) 同等以上の能力を試験(例えば、BJTビジネス日本語能力テストにおける480点以上の得点)により認められている者も含む。  
(注5) 同等以上の能力を試験(例えば、BJTビジネス日本語能力テストにおける400点以上の得点)により認められている者も含む。  
(注6) 本邦の高等教育機関における研修については、ボーナス⑦のポイントを獲得した者を除く。  
(注7) 経営管理に関する専門職学位(MBA, MOTT)を有している場合には、別途5点の加点

# 常见问题和解答

Q：购买房产或私人住宅后，我可以让别人代表我管理房产吗？

A：不允许，因为这不符合居留“经营管理”的在留资格。你需要证明你正在经营和管理自己的企业。

# 常见问题和解答

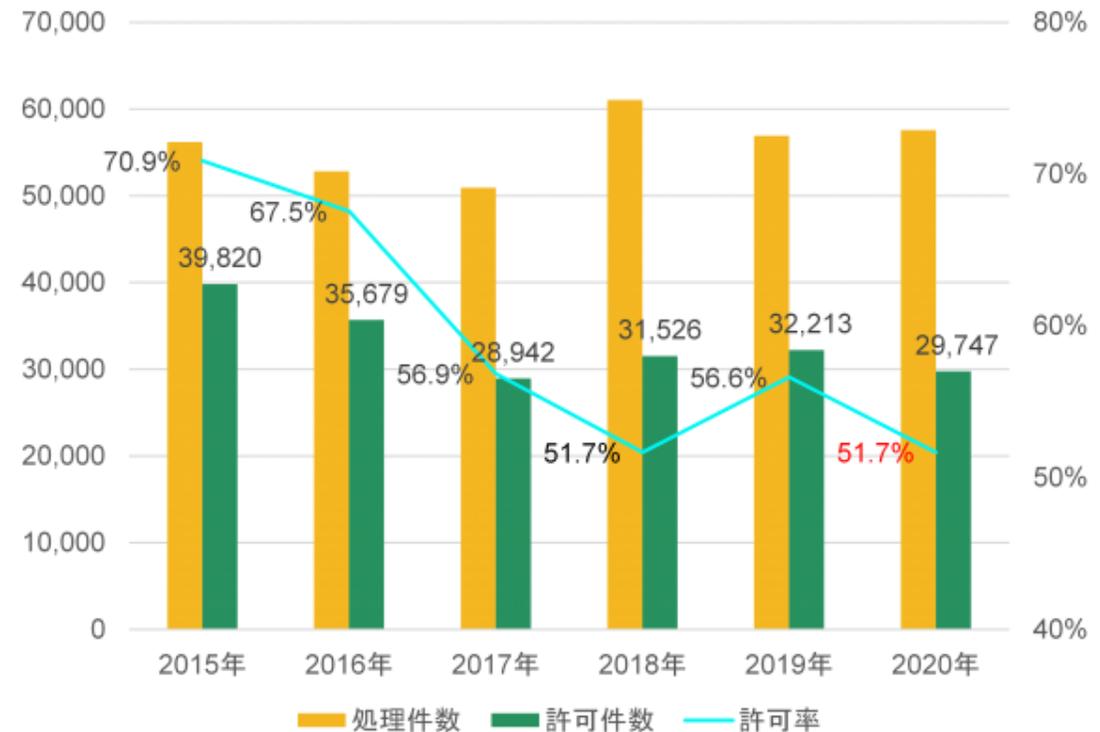
Q：永久居留申请的批准率是多少？

A：在最近一年（2020年），约为50%。许可率在逐年下降，见下一页。

# 常见问题和解答

- 如果您看一下批准率，会发现它已经从2015年的70.9%下降到2020年的51.7%。
- → 审查和条件每年都在变得更加严格

永住許可の推移  
左軸:人、右軸:許可率



# 常见问题和解答

Q：有什么办法可以提高永久居留申请的批准率？

A：为企业管理获得政府许可证和拨款。  
个人加薪和奖励。

# 常见问题和解答

Q：我多久会收到申请永久居留许可的通知？

A：如果一切顺利，大概在申请后四个月。

# 常见问题和解答

Q：我的永久居留证没有被批准。我可以重新申请吗？我需要等待多长时间才能重新申请？

A：你可以无限次重复申请。等待的时间也没有限制。但确保你在申请前检查上一次被拒绝的原因并加以纠正。

# 参考资料

- 成立检查表 参照附页  
(英语版, 中文版)
- 高度专门职积分计算表 参照附页  
从入国管理局官网进入



行政書士Urban国際法務事務所

〒001-0038

札幌市北区北38条西7丁目1-10

シティハイム西麻生1階

URL：[www.urban-international.jp](http://www.urban-international.jp)

mail:[info@urban-international.jp](mailto:info@urban-international.jp)

TEL:011-213-0934 FAX:011-206-8841

代表行政書士 日影 恒次

在正确的计划下  
为永久居住权做好充足的准备！